

令和3年度 第3回 学校評議員会

日 時：令和4年2月21日（月）13時00分～14時40分

場 所：本校多目的教室

出席者：学校評議員6名 学校職員11名

1. 開会

2. 学校長挨拶

- ・台湾の高校生とのオンライン交流 継続的に3回出来たこと新しい取り組み
- ・まん延防止延長で高校はオンライン授業、中学は分散登校、週1の登校日は出席率よい。
- ・来年度から新教育課程始まる。3つのカリキュラムが整備された。
- ・SSH5期がスタートした。普及が大事であり、地域との交流を深めていきたい。公民館の活動で地元の小学生・中学生に来てもらった。中学校での科学教室も実施した。

3. 学校からの説明

(1) キャリア教育について

- ・共通テスト概要／国公立出願状況／私立大学出願状況
- ・昨年度、コロナ禍で東京での受験減った。今年は戻っている。

(2) 高校の主な取り組み（コロナ対応）

- ・まん延防止期間の取り組み
- ・オンライン授業 1年タブレット持っている、2年生も持っている生徒多く、貸与は70名ほど

(3) 附属中学校の主な取り組みについて

- ① SSH 関連学習 生徒の興味関心を刺激し、各自の探究活動に繋がっている
- ② 学力向上に向けた取り組み 学力を支える3つの柱：ICT活用／授業改善／自主学習
- ③ その他
 - ・先輩の話を聞く会 とても励まされた内容だった
 - ・2年生の北陸研修と3年の修学旅行は実施できたが、2年生のイングリッシュキャンプは中止。
 - ・3年生の海外語学研修はオンラインで実施した。

(4) 生徒指導について

- ・休み時間にスマートフォンを使っている生徒が多い。学校のルールが必要か検討したい。
- ・正門前歩道を自転車乗っていると近隣の方から注意される。安全に注意していきたい。
- ・いじめアンケートを2回実施した。生徒をより注視できるよう実施。結果は、昨年と大きな違いはない。

(5) 生徒相談について

- ・今までは不登校などの問題が出てきたところで係が集まる形で活動していたが、今年度は常時活動している。不登校、担任を中心に個別に対応していたが、係が学年会等に出て情報収集し、保護者対応や面談を係が分担して対応している。多くの目でアドバイスできている。
- ・カウンセリングをきっかけとして外部の精神科に繋がったり、精神的に安定して教室に返れたケースも。
- ・職員研修「思春期の精神保健」、生徒研修「不安のメカニズムと対処法」の実施。

(6) 生徒会について

- ・後期生徒会の主な取り組み コロナ禍で活動が難しいが、生徒は工夫して活動している

(7) SSHについて

- ・多くの活動をしていることを知っていただきたい。多くは理数科生が対象の講義やプログラムではあるが、普通科生が賞を取ったり、コンクールへの参加も多くなっている。
- ・新しい取り組みである SSH ミニフォーラムはサイエンスに限らず、いろいろな分野で実施。県内で活躍されている方を講師とし、参加者も希望者。講師の先生から密度の濃い時間を過ごせたと。生徒も探究活動の参考になったと好評。
- ・3月 一人一研究、課題探究・課題研究の発表会あるので見に来ていただきたい。

(8) 学校評価

- ・学校評議員の方の学校評価アンケート結果とご提言をまとめた。職員で共有し、課題を再確認した。

4. 質疑及びご意見

【質疑】

Q. オンライン活用のメリット、デメリットがあるか？

一律の課題からそれぞれの課題を見つけて、自分にあった学習をさせようとしている。

まだ、成果は出ていないが、ICT 活用で機械の操作とかプレゼン能力はレベルの高いものになっている。

Q. 一貫生と選抜生の中に壁を感じるのはどういった原因があるのか？

温度差はない。一貫生は中学生の頃から生徒会活動をやっている、高校の生徒会についても文化祭を一緒にやったりして見てきている。高校 1 年生は 4 年生の感覚で、自分たちが思ってきたものを実現したいという思いがあるかも。流れを知っているので改善できるという思いが強く、仲が悪いということはない。

Q. 体力づくりの面で苦労されているのでは？

オンライン授業で、以前はスポーツ理論をやっていたが、今回はダンスをやった。高 1 は例年より体力落ちている。中 3 で中体連大会中止、中 2 では台風の影響で秋の新人大会が中止で経験してこなかったせいかも。

Q. ICT 活用の課題

一貫生は中学から使いこなしている。指導を受けている者と高校に来て初めて使うのでは、スキル、ものに対する考え方にも違いがある。差が 1 年では縮まらない。入学生に何を指導していくか整理して、専門科の指導も必要か。

Q. 医学部では女子の合格者が男子より多くなった。理工系では女子が少ない理由は？

理数科では女子が増えてきている。SSH としても理系女子を意識して、サイエンスフォーラムで女性講師を多くしている。高 3 をもっていると理系女子は結構いるが、教育学部や医療系が多い。理系を出たときに研究者としてどうやっていけるのかイメージしにくい。理系女子が研究を続けてける環境が大学にない。医療系は免許をとれば就職してやっていけることが明確。適性が理系の女子も沢山いるので意識改革はしていくが、大学側でも研究環境を整えてそれを発信していくことが大事。

Q. ICT パイロット校 予算があるのか？

AI 教材で使用。来年度も手を挙げている。生徒の利益なので積極的に活用している。

Q. 心技体が今は、体技心。教育相談ではどのような状況か？

学校を続けながら通院している生徒がいる。相談件数は例年このくらいで推移している。

【ご意見】

- ・いじめアンケート2回、アセスも2回。子どもたちに寄り添った姿勢で臨んでいただき頭が下がる。カウンセリングについても義務の小中でもこんなにやっていない。相談の内容も多岐にわたり、サポートしてくれていることに感謝。中2の女子の運動能力が下がっている。運動部の加入、特にチームスポーツの減少傾向が関わっているのかもしれない。
- ・生徒会で自治能力が備わっているのは羨ましい。副校長先生には校長会に参加していただき、情報をいただいている。ICT活用の情報を流していただいている。附属中学があつてよかったなと思っている。今、中学校長会で話をしているのは、来年に向けて、授業力改善や評価方法の研究を行う中学校会を立ち上げていこうということ。是非、屋代高校附属中学の先生方にも加わっていただきたい。
- ・令和5年度から、中学校では休日の部活動が一切なくなっていく。子どもたちの受け皿をどうしていくかを来年1年かけて枠組みを作っていく。今のところ千曲市を1つにしてクラブを作ったらどうかと考えている。そこにも力を貸していただきたい。子どもたちが一緒に活動できるクラブができたらありがたい。最後に、高澤校長先生には、最後の数年間をSSH、進路、地域に開いていくことを積極的に進めていただいたことに感謝している。
- ・オンライン授業で体力もちろんですが、友達に会えなかったり、部活動もできなかったりで、精神的な面が心配。PTAなどで友達ができるのはうれしいので、中学生や高校生が精神的に豊かになればいいと思います。
- ・高校生の大きな自転車事故があつた。またかと思われるくらい気を付けて乗るように言っていきたい。
- ・共通テストでの東大やカンニングの事件があつたが、大学に入ることが100%目標になってしまっている。コロナでコミュニケーションが不足しがちなので、こどもの未成熟さゆえに、学校は最善の情報を伝えているけれど、生徒が適切に感知できないこともあり得る。このような報道を耳にすると、偏差値が高い子でも落とし穴にはまる。本校でも心にとめて対応をお願いしたい。

5. 諸連絡

6. 閉会